

【資料 1】

東大阪市立幼保連携型認定こども園 教育及び保育の内容に関する全体的な計画 (案)

[理念]

就学前の子どもたちの成長発達に応じた教育・保育を一体的に行う中で、心情、意欲、態度を培い、生きる力の基礎を育成する。

地域の中で子育て支援の拠点として公的な役割を果たすと共に、子育て支援策を充実させ、安心して子育てできるようにする。

[教育・保育方針]

- 1 子ども一人ひとりを大切にし、年齢毎の発達の特性に応じた教育・保育をすすめる。
- 2 基本的な生活習慣を身につけ社会生活における望ましい習慣や態度を育てる。
- 3 子どもの人格を尊重し、一人ひとりの自尊感情を養い人と豊かにかかわる力を育てる。
- 4 人とのかかわりを大切にし、仲間の中で育ち合える教育・保育をすすめる。
- 5 小学校との円滑な接続をすすめる。
- 6 保護者と子どもの成長を共有し育ちを支える。
- 7 地域や関係機関と連携を図り、地域の実態に即した子育て支援をすすめる。

[保育時間等]

●開園時間：7：00～19：00

●教育標準時間：9：00～14：00

*預かり保育：14:00～17：00（1号認定）

●保育標準時間：11時間　保育短時間：8時間

*延長保育時間：18：00～19：00

・教育時間は1日4時間とし、年間39週を下回らない（1号・2号認定）

[特に配慮すべき事項]

- * 集団生活の経験年数が異なる園児に配慮し、0歳～就学前の一貫した教育及び保育を行う。
 - ・ 一日の生活の連続性及びリズムの多様性に配慮し、教育及び保育の内容の工夫をする。
- * 教育及び保育の環境の構成
 - ・ 満3歳児以上は同一学年による学級編成とする。
 - ・ 在園時間の違いに配慮する。
 - ・ 異年齢集団活動ができるための工夫をする。
- * 養護(生命の保持及び情緒の安定を図るため、保育教諭等が行う援助や支援、かかわり)が基礎となり教育が展開される。
 - ・ 生命の保持(園児が快適かつ健康、安全ですごせるように配慮する)
 - ・ 情緒の安定(園児が安定感を持って過ごし、安心して自分の気持ちを表し自己肯定感を育む)
- * 障害のある子どもの指導にあたっては、集団の中で生活することを通して全体的な発達を促していく事に配慮する。
- * 教職員で連携を図り、子どもの育ちの共通理解に努める。
- * 健康・環境及び衛生管理・安全食育に関すること
 - ・ 健康支援(健康及び発育発達状況の定期的、継続的な把握、健康診断の実施、虐待等早期発見、各関係機関との連携、感染症集団発生の予防、年間保健指導計画、教職員検診及び検便等)
 - ・ 環境、衛生・安全管理(室内外の設備、用具等の衛生管理、園の適切な環境維持、園児・教職員の清潔保持、毎月の避難訓練等)
 - ・ 食育の推進(自園給食の提供、行事食の提供、アレルギー食の提供、クッキング保育の実施、菜園活動等)
- * 子育て支援に関すること
 - ・ 保護者への支援(保護者との相互理解、就労と子育ての両立支援、預かり保育、延長保育、個別支援等)
 - ・ 地域における子育て家庭の保護者等に対する支援(一時預かり事業、園庭開放、育児相談、育児教室、赤ちゃん教室、お出かけ保育、子育ての集い、子育てサークルへの支援等)
 - ・ 地域における関係機関等との連携(ケース会議、地域連携会議等)
- * カリキュラムについては、今後も実態に応じて見直しを行っていく。

東大阪市立幼保連携型認定こども園 教育・保育カリキュラム

| | | | | | | | |
|------------------------|---|--|---|--|---|--|---|
| 教育・保育の基本 | | 子どもの健全な心身の発達を図りつつ、生涯にわたる人格形成の基礎を培うものである。 ・人のかかわりを通し、安心感、信頼感をもっていろいろな活動に取り組む体験を積み重ねられるようにすること。 ・園児の主体的な活動を促し乳幼児期にふさわしい生活が展開されるようにすること。 ・遊びを通しての指導を中心としてねらいが総合的に達成されるようにすること。 ・一人ひとりの特性や発達の過程に応じ、発達の課題に即した指導を行うようにすること。 | | | | | |
| 教育・保育目標 | | 教育及び保育の生活を一体的に展開し、その中で心情、意欲、態度等を育成し生きる力の基礎を育成する。 (1) 基本的な生活習慣を養い、身体諸機能の調和的発達を図ること。 (2) 人のかかわりを大切に、自主、自立及び協同の精神並びに規範意識の芽生えを図ること。 (3) 身近な環境、自然に対する興味を養い、それらに対する正しい理解と態度及び思考力の芽生えを養うこと。 (4) 言葉の使い方を正しく導くとともに、相手の話を理解しようとする態度を養うこと。 (5) さまざまな表現遊びに親しむことを通じて、豊かな感性と表現力の芽生えを養うこと。 (6) 心身の健康の確保及び増進を図ること。 | | めざす子ども像 | | (1) 安心感の中で生きていく力をもった子ども（養護） (2) 心身ともに健康な子ども（健康） (3) 仲間と共に育ち合える子ども（人間関係） (4) 自然に親しみ意欲的に遊ぶ子ども（環境） (5) 自分の気持ちや経験を伝えあえる子ども（言葉） (6) 感性豊かな子ども（表現） | |
| 教育・保育目標 | | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 |
| | | ・ぐっすり眠り、よく食べ、よく遊ぶよう、個々の生活リズムを整える。 ・大人に安心して気持ちを寄せ、欲求や要求を表すことができる。 | ・要求をしっかりともち、保育教諭等や友だちに自己主張をして自分の思いが崩れた時大人に支えられて気持ちを切り替えたり、立ち直ろうとする。 | ・自分の思いをまっすぐに出そうとする。 ・自ら～しようとする力を育てる。 | ・保育教諭や友だちと遊ぶ中で自分のしたい事、言いたい事を言葉や行動で表現する。 ・挑戦したことが出来、自信になる。 | ・集団の中で自己を発揮し自律性を育む。 | ・目標に向かって力を合わせて活動し、自主性や協調性を育む。 |
| ねらい (①心情②意欲③態度) | | 内 容 | | | | | |
| 養 護 | 生命の保持 | ●食事、睡眠、排泄等生理的欲求を満たし気持ち良い生活を送れるようにする。 | ●食事、排せつ、着替え等を自分でしようとするのを見守り、援助する。 | ●簡単な身の回りのことを自分でできるように援助する。 | ●基本的な生活習慣を身につけられるように援助する。 | ●基本的な生活習慣が身につく、見通しを持ち、生活できるように促す。 ●自らの体調の変化に気づき、衣服の調節ができるように声をかける。 | ●自分の身体を大切に、基本的な生活習慣を確立する。 ●主体的、意欲的に生活が送れるようになる。 |
| | 情緒の安定 (総則第3-4) | ●子どもの欲求や気持ちを受け止め、心地よさを感じられるようにする。 | ●自分の気持ちを安心して出せるように信頼関係を築く。 | ●子どもの思いを受け止める。 ●友だちの中で安定してすごし、自己主張できるように見守る。 | ●要求を受けとめ、安心して生活を送れるように援助する。 ●子どもが主体的な生活ができるような工夫をする。 | ●年長への期待を持ち、色々な活動に意欲的に取り組めるようにする。 ●活動を通じて自信を持ち、保育教諭や友だちとの信頼関係を築けるようにする。 | ●友だち同士で認め合い、みんなで達成感のもてる取り組みができるようにする。 ●ありのままの自分を受けとめ、間違っても失敗してもやり直せるように見守る。 |
| 健 康 | ①明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 ②自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 ③健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 | ●よく食べ、よく遊び、よく眠り、24時間の生活リズムの中で、健康な身体をつくる。 ●寝返り、這う、座る、立つ、伝い歩き、歩くなどそれぞれの発達段階に応じた動きをする。 | ●歩行が確立し、生活・遊びのなかで身体を使う楽しさを知る。 ●散歩に出ているいろいろな道（坂道、砂利道など）を歩く。 | ●歩く・走る・跳ぶなど、全身を使って遊ぶことを楽しむ。 ●指先を使った遊びを楽しむ。 | ●遊びの中で身体を動かす楽しさを知る。 ●さまざまな道具を使って楽しく遊ぶ。 | ●友だちと身体を動かす遊びや活動で色々な身体をつくる。 ●細やかな動きや協応動作が可能になり 気持ちや身体を調整しようとする。 | ●自分で自分の身体を調整する力を身につける。 ●協応動作を充実させ、柔軟な動きをしようとする。 |
| | 食 育 | ●離乳食などを通して、いろいろな味を知り、楽しく意欲的に食べる。 | ●いろいろな味を知り、楽しく食べる。 ●スプーンを使って食べる。 | ●楽しい雰囲気食べる。 ●食べることに興味や関心をもつ。 | ●みんなで一緒に作って楽しく食べる経験を共有する。 | ●食べることを通じて、物や命の大切さがわかる。 ●栽培や調理を通して自分たちで作って食べることを楽しむ。 | ●食べ物に関心を深め食事と体の関係に興味をもつ。 ●収穫の喜びを知り、調理を通して自分たちで作って食べることを楽しむ。 |
| 教育及び保育 | 人間関係 | ①幼保連携型認定こども園の生活を楽しく、自分の力で行動することの充実感を味わう。 ②身近な人と親しみ、かかわりを深め、愛情や信頼感を持つ。 ③社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。 | ●保育教諭等のかかわりのなかで大人に愛されている実感を持ち、大人への信頼感を持つ。 | ●安定した関係を土台に保育教諭等や友だちに関心を持ちかかわる。 | ●友達と関わる心地よさを知り、好きな友だちができる。 ●保育教諭等のすることに興味を持ち、お手伝いをしようとする。 | ●自己主張をし、保育教諭等に受け止めてもらいながら相手の気持ちにも気づいていく。 ●好きな友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ。 ●簡単なルールのある遊びを楽しむ。 | ●生活や遊びの中で友達を応援したり、みんなで力を合わせることの大切さを知る。 ●互いの思いを出し合い物事を解決しようとする。 ●ルールのある遊びを楽しむ。 |
| | 環 境 | ①身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。 ②身近な環境に自分からかかわり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。 ③身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、ものの性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。 | ●五感を働かせ、自然物や身の回りの物に自ら関わる。 | ●身近な環境に自ら関わろうとし、探索活動を楽しむ。 ●道具を使っての遊びを楽しむ。 | ●身の回りの事物や自然、虫や小動物に興味をもつ。 ●変化する素材などでおもいっきり身体をつかって遊ぶ。 | ●身近な自然に興味をもち、見たり触れたりして好奇心を持つ。 | ●身近な動植物に触れる。 ●自然現象や身近な環境への関心が高まり、ものごとの本質をとらえようとする。 |
| 言 葉 | ①自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 ②人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 ③日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、保育教諭等や友達と心を通わせる。 | ●発声や喃語、手差し、指さし、身振りなどで気持ちや要求を保育教諭等に伝える。 ●物の名前や簡単な言葉がわかる。 | ●大人の言葉がわかり、保育教諭等に態度や言葉で自分の思いを伝えようとする。 ●簡単な絵本を繰り返し楽しむ。 | ●自分の思いを言葉で伝えようとする。 ●簡単な会話ややりとりを楽しむ。 ●経験したことを言葉で表現しようとする。 ●絵本を楽しむ。 | ●自分の思ったことや感じたことを言葉で表現し、保育教諭や友達とやり取りを楽しむ。 ●生活に必要な言葉を理解し、友だちと言葉で交流する。 ●簡単なストーリーのある絵本を楽しむ。 | ●生活や遊びに必要な言葉が分かり、自分の経験したことや考えたことを伝え合う。 ●言葉で行動を調整する。 ●絵本の世界を楽しむ。 | ●人の話を注意して聞き、相手にも分かるように話す。 ●絵本を見たりおはなしを聞く中で、言葉に対する感性が豊かになる。 |
| | 表 現 | ①いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性を持つ。 ②感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 ③生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。 | ●保育教諭等の動きに興味を持ち、模倣をする。 | ●みたくて、つもり遊びや模倣遊びを楽しむ。 ●保育教諭等がする歌や手遊びなどに興味を持ち、一緒に楽しむ。 | ●生活再現遊びから、みたくつもり遊びの世界を広げごっこ遊びを楽しむ。 ●見たこと経験したことを言葉で伝えようとする。 | ●歌や手遊びを楽しむ。 ●保育教諭と一緒にごっこ遊びをみんなで楽しむ。 ●経験した事など自分なりに表現する。 | ●絵本やごっこ遊びの中でイメージを膨らませて遊びを楽しむ。 ●友だちとイメージを共有して劇遊びを楽しむ。 ●楽しかったこと、経験したことを色々な形で表現する。 |
| 指導計画の作成 | | 子どもがその時期にふさわしい生活が保障され、適切な指導が行われるよう調和のとれた組織的、発展的な指導計画を作成し、園児の活動に沿った柔軟な指導の実施。 ①具体的に作成すること。 ②活動がそれぞれの時期にふさわしく展開されるよう園児が安定感を得て、なじんでいくようにすること。 ③様々な人や物のかかわりを通して、多様な体験をし、心身の調和のとれた発達を促すようにしていくこと。 ④長期の指導計画、短期の指導計画を作成し、適切な指導が行われるようにすること。 ⑤園児一人ひとりが興味や欲求を十分に満足させるよう適切な援助を行うようにすること。 ⑥園児の人権や園児一人ひとりの個人差等に配慮した適切な指導を行うようにすること。 ⑦創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにすること。 | | | 研 修 計 画 | 職員の資質向上 研修等 | |
| | | | | | 自 己 評 価 | 保育教諭等の評価（自己評価と子どもの評価の確立） | |

| | | I期（4～6月） | II期（7～10月） | III期（10～12月） | IV期（1月～3月） | | |
|-----|--|---|--|---|---|--|---|
| ねらい | | <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの生活リズムを大切にし、無理なく新しい環境に慣れるようにする。 保育教諭等にあやされたり、言葉を掛けられることで保育教諭等との信頼関係を築く。 | <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの体調を把握し、快適に過ごせるよう、夏の保健衛生に留意しながら、沐浴や水遊びを行う。 保育教諭等に欲求を受け止めてもらい、かかわってもらう中で安心感を持つ。 | <ul style="list-style-type: none"> 保育教諭等や他児とのかかわりを喜んだり、関心が持てるよう安心できる雰囲気をつくる。 気候や体調に気を付け、戸外遊びや散歩に出かけ自然に触れる。 | <ul style="list-style-type: none"> 安定した環境の中で、探索活動を通して、いろいろな人や物に触れながら好きな遊びを楽しむ。 友達と少しずつかかわり、自分であろうとする気持ちを保育教諭等に受け止めてもらい、言葉や動作で表現する。 | | |
| 月齢 | | 57日～3か月未満 | 3か月～6か月未満 | 6か月～9か月未満 | 9か月～12か月未満 | 1歳～1歳3か月未満 | 1歳3か月～1歳11か月 |
| 養護 | | <ul style="list-style-type: none"> 食事、睡眠、排泄等生理的欲求を満たし、気持ちよい生活を送れるようにする。 子どもの欲求や気持ちを受け止め、心地よさを感じられるようにする。 甘えや不安をその都度受けとめ情緒の安定をはかる。 | | | | | |
| 養護 | | <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの生活リズムに合わせて、安心して過ごせるようにする。 不快を感じる状態を常に確認し、衛生面に配慮する。 | <ul style="list-style-type: none"> 腹ばいなどで移動するようになるので、危険のないよう見守る。 口にものを運ぶので、飲み込みや衛生面に十分注意する。 | <ul style="list-style-type: none"> 睡眠のリズムの変化に対応して、活動時間や活動内容を調整する。（生活リズムを調整していく） | <ul style="list-style-type: none"> 動きが活発になると危険も増すことを想定し、物の配置に配慮する。 排泄ではオマルに座らせて慣れさせていく。 | <ul style="list-style-type: none"> 食後、口の中を清潔に保つため、個々に合わせて口の中を布でぬぐったり、歯磨きをしたりする。 | <ul style="list-style-type: none"> 衣服の着脱を自分であろうとする意欲を十分に受け止め、必要に応じて援助する。 |
| 内容 | I健康（健康な体をつくる力） II人間関係（人とかかわる力） III環境（自然や身近な環境にかかわる力） IV言葉（思いを伝える力） V表現（感性豊かに表現する力） | <ul style="list-style-type: none"> 音の出る玩具や柔らかい素材の玩具に興味を持ち触れようとする。 語り掛ける保育教諭等を注視する。 保育教諭等にしっかりかかわってもらい、喃語を発する。 のびのびと手足を動かす楽しさを知る。（食育） 3～4時間間隔でミルクを飲む。 | <ul style="list-style-type: none"> 周りの環境に興味を持ち、手を出して自らかかわろうとする。 体を動かしたり、動かしてもらったりすることを喜ぶ。 安心できる保育教諭等との関係を結ぶ。 あやし遊びを楽しむ。（食育） 乳汁以外の味に慣れる。 | <ul style="list-style-type: none"> 手に触れたものをつかんだり、落としたりして遊ぶことを楽しむ。 身近な保育教諭等に親しみを強く持つと同時に、少しずつ他の大人にも関心を持つ。 保育教諭等に見守られ、ほう、四つ這い、つかまり立ち、伝い歩き、歩行などで十分に体を動かす。 ゆさぶり遊び、感触遊びを楽しむ。（食育） 離乳食を始め、色々な味に慣れる。 | <ul style="list-style-type: none"> 戸外に出て、自然や小動物など、興味を持ったものに触れ、手差し、指差しをする。 歌や音楽に興味を持ち、リズムに合わせて体を動かして楽しむ。（食育） 離乳食（後期食）を食べる。 スプーンや手づかみ等で、自分で食べようとする。 コップで飲もうとする。 | <ul style="list-style-type: none"> 排泄の際、自らオマルに座ろうとする。 指先を使った細かな動きができる玩具で遊ぶことを喜ぶ。 見守られているという安心感の中で、人との関係を広げる。（食育） 絵本に興味を持つ。（食育） スプーンを使って自分で食べようとする。 完了食（幼児食）を食べる。 | <ul style="list-style-type: none"> 他者を意識し、かかわろうとする意欲が出てくる。 歩くことの楽しさや、発達に応じた動きを積極的にしようとする。（食育） スプーン・フォークを使い、食器に手を添えて食べようとする。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●環境構成 ★保育教諭の援助 | <ul style="list-style-type: none"> ●一人ひとりの生活リズムに応じて、ゆったりとした温かい雰囲気の中で生活できるようにする。 ●つり玩具や音の出る玩具、柔らかい素材の玩具など、成長発達に見合った清潔なものを用意する。 ★授乳やおむつ交換は視線をあわせて優しく言葉を掛けながら、心地よさを感じられるようにする。 ★一人ひとり安心して眠れる静かな環境をつくる。 | <ul style="list-style-type: none"> ●一人ひとりの発達や健康状態を把握し、安定した心地よい生活ができるようにする。 ●玩具などは常に点検、洗浄、消毒をして清潔を保つ。 ★赤ちゃん体操や触れ合い遊びなどを通して、信頼関係を築くとともに言葉と体の発達を促す。 | <ul style="list-style-type: none"> ●お座りや腹ばいになるなど活動の範囲が広がるに伴い、安全で活動しやすい環境を整える。 ★発達に合った運動遊びができるような言葉掛けをしたり、玩具の位置を工夫し、楽しく遊べるようにする。 ★一人ひとりの発達の状態に合わせて、離乳食の開始時期や内容を検討する。（前期食から中期食） | <ul style="list-style-type: none"> ●興味や発達に合わせて、子どもの好奇心や探索活動が満たされるように環境を整える。 ★子どもの伝えようとする表情や指差し、気持ちを大切に受け止め、共感したり、分かりやすい言葉で語り掛けていく。 ★自分で食べようとする意欲を大切に、様々な味や食感に慣れていけるようにする。（後期食に移行するにあたり歯茎ですりつぶして食べられるようにする） | <ul style="list-style-type: none"> ●歩くことが楽しくなり行動範囲が広がるので、安全面に十分注意し、伸び伸びと遊べるようにする。 ★一人ひとりの思いを受け止め、自己主張ができるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ●一人ひとりの遊びや、自分でしたいという欲求が十分に満たされるよう環境を整え、喜びが味わえるようにする。 ★友達とかかわって遊びを楽しめるよう保育教諭等が仲立ちとなり、一緒に遊んだり見守ったりして、子ども同士のかかわりが持てるようにする。 ★スプーン・フォークを使う際、危険な使い方をしないように指導するとともに、食器の使い方を知らせる。 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ★睡眠時は呼吸や顔色・体勢などを確認し、乳幼児突然死症候群（SIDS）の予防に努める。 ★離乳食は家庭と連絡を取り合い、無理なく進める。 ★家庭と連携し、個々のリズムを24時間見通して整うよう配慮する。 | | | | | |

| | | I期（4～6月） | II期（7～9月） | III期（10～12月） | IV期（1月～3月） |
|---|-----------------------|---|---|--|---|
| ねらい | | <ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭等や新しい環境に慣れる。 ・保育教諭等や友だちとのかかわりから好きな遊びを見つけ楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭等や友だちに興味を持ち積極的にかかわろうとする。 ・園の生活リズムに慣れる。 ・夏の遊びを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの事に興味を持ち自分でしようとする。 ・しっかり歩き、全身を使った遊びを楽しむ。 ・秋の自然に親しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活の流れがわかり見通しを持ちながら行動する。 ・冬の自然に親しみ保育教諭等や友達と一緒に遊びを繰り返し楽しむ。 |
| 養護 | | <ul style="list-style-type: none"> ・食事、排泄、着替え等を自分でしようとするのを見守り、援助する。 ・自分の気持ちを安心して出せるように信頼関係を築く。 | | | |
| 内容 | I健康（健康な体をつくる力） | <ul style="list-style-type: none"> ・全身を使った遊びを保育教諭等と一緒に楽しむ →IV期 ・探索活動を楽しむ。 →IV期 (食育) <ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気の中で、よく噛んで食べる。 ・スプーンやフォークを使って食べようとする。 ・食前・食後のあいさつを保育教諭等と一緒にする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・水遊びや外遊びを楽しむ。 (食育) <ul style="list-style-type: none"> ・食事に期待し行動に見通しを持つ。(手を洗う、椅子に座るなど) ・いろいろな味に親しみ保育教諭等や友だちと一緒に楽しく食べる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・固定遊具や、ボールなどの用具を使った運動遊びを楽しむ。 (食育) <ul style="list-style-type: none"> ・スプーン・フォークで食べる。 ・保育教諭等に励まされながら苦手なものでも食べようとする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・散歩や戸外での探索活動を保障し、しっかり歩き体を使って遊ぶ事を楽しむ。 (食育) <ul style="list-style-type: none"> ・こぼしながらも自分で食べようとする。 |
| | II人間関係（人とのかかわる力） | <ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭等の身近な大人にかかわり、興味や親しみを持つ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・友だちのすることを見て真似をしたり、一緒にしようとする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭等とのかかわりを楽しみながら友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・困った時は保育教諭等に助けを求めようとする。 ・友だちと同じことをして共感し合うなど友だちへの関心が広がる。 |
| | III環境（自然や身近な環境にかかわる力） | <ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭等と一緒に戸外で春の自然に触れて遊ぶ。 ・好きなおもちゃや遊具に興味をもち遊びを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「危ない」などの静止の意味を知り、安全に遊ぶ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・散歩や戸外遊びなどを通して秋の自然に触れ興味を持つ。 ・道具を使つての遊びを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・好きな玩具や遊具に興味を持ち遊びを楽しむ。 |
| | IV言葉（思いを伝える力） | <ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭等の発音を真似て模倣しようとしたり片言や身ぶりで自分の思いを伝えようとする。 ・簡単な絵本や紙芝居を楽しむ。 →IV期 | <ul style="list-style-type: none"> ・季節の歌や手遊びを楽しむ中で、様々な言葉に触れる。 ・応答的な言葉のやりとりを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・友だちに関心を持ち、保育教諭等の支えで思いを伝えようとする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要な簡単な言葉を獲得し、話したり聞いてもらうことを喜ぶ。 |
| | V表現（感性豊かに表現する力） | <ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭等と一緒に歌ったり簡単な手遊びをしたりリズムなど体を動かして楽しむ。 →IV期 ・描画を楽しむ。 →IV期 | <ul style="list-style-type: none"> ・水や砂、どろんこなどの感触遊びを楽しむ。 ・指先を使つての遊びを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・秋の自然物を使った遊びや変化する素材を使つての遊びを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・見立てつもり遊びや模倣遊びを楽しむ。 ・簡単な繰り返しの絵本を保育教諭等と一緒に楽しむ。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●環境構成 ★保育教諭の援助 | | <ul style="list-style-type: none"> ●家庭と連携をとりながら一人ひとりの健康状態を把握する。 →IV期 ●遊びや行動範囲を把握し安全に過ごせるようにする。 →IV期 | <ul style="list-style-type: none"> ●水遊びが出来る様に環境を整える。 ●水分補給をまめに行い適切な休息をとるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ●気温差が激しくなるので、体調の変化に十分注意する。(衣服の調整等をする) | <ul style="list-style-type: none"> ●風邪や感染症の予防に努め、湿度、換気、清潔に気をつける。 ●基本的な生活習慣の基礎が身につく安心して過ごせるように環境を整える。 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ★一人ひとりの要求をしっかり受けとめ、心地よさや安心感を持てるようにする。 ★自分でしようとする気持ちを大切に、できた事を喜び次の活動の意欲につなげていく。 ★言葉にならない思いを保育教諭等が理解し言語化しつつ共感する。 ★体幹を育て、しっかりとした体をつくる。 ★心身の状態を把握するために保護者との連携を密にする。 | | | |

| | | I期（4～6月） | II期（7～9月） | III期（10～12月） | IV期（1月～3月） |
|---|---|---|--|---|---|
| ねらい | | ・新しいクラスの保育教諭等や友だちに慣れ、喜んで園生活をおくる。 | ・安心して園生活をおくり、水遊びや感触遊び等を楽しむ。 | ・戸外で思い切り身体を動かして遊ぶ。 ・簡単な身の回りの事を自分でしようとする。 | ・生活や遊びの中で、つもり遊びや、言葉のやり取りを保育教諭等や友だちと一緒に楽しむ。 |
| 養護 | | <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの子どもの欲求を満たしながら適度な運動と休息をとるようにする。 一人ひとりの子どもの気持ちを理解し、受け止めることにより自分の気持ちを安心して表わせるようにする。 | | | |
| 内容 | I健康（健康な体をつくる力） | <ul style="list-style-type: none"> 保育教諭等に見守られながら、簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。 保育教諭等や友だちと一緒に全身や手指を使う遊びを楽しむ。 (食育) <ul style="list-style-type: none"> 楽しい雰囲気の中で一定量食べる。→IV期 食べることに興味関心をもつ。→IV期 | <ul style="list-style-type: none"> 水遊びや感触遊び等を楽しむ。 (食育) <ul style="list-style-type: none"> 畑の野菜を見たり、触れたりして収穫を楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> 保育教諭等や友だちと一緒に歩く・走る・跳ぶなど全身を使って遊ぶことを楽しむ。 (食育) <ul style="list-style-type: none"> 食器に手を添え、スプーン・フォークを使って食べようとする。 | <ul style="list-style-type: none"> 指先を使った遊びを楽しむ。 (食育) <ul style="list-style-type: none"> お箸を使って食べようとする。 |
| | II人間関係（人とかかわる力） | ・保育教諭等や友だちと安定した関わりで安心して過ごす。 | ・保育教諭等に気持ちを受け止めてもらいながら、友だちと関わって楽しく遊ぶ。 | ・友だちと遊びかかわる心地よさを知り、好きな友だちができる。 | ・保育教諭等のすることに興味を持ち、お手伝いをしようとする。 |
| | III環境（自然や身近な環境にかかわる力） | ・身の回りの事物や、自然、虫、小動物などに興味を持つ。 | ・変化する素材などで、思いきり体を使って遊ぶ。 | ・身の回りの色や物の名前などに興味をもつ。 | ・好きな玩具で友だちと遊ぶ。 |
| | IV言葉（思いを伝える力） | ・絵本を見たり聞いたりして言葉の繰り返しを楽しむ。 | ・自分の思いを言葉で伝えようとする。 | ・保育教諭等を仲立ちにして、生活や遊びの中で簡単な会話や言葉のやり取りを楽しむ。 | ・日常生活に必要な言葉がだいたいわかり、経験したことを言葉で表現しようとする。 |
| | V表現（感性豊かに表現する力） | <ul style="list-style-type: none"> みたてつもり遊びを楽しむ。 手遊びや歌を保育教諭等や友だちと一緒に楽しむ。→IV期 リズム遊びや体操をする。→IV期 さまざまな素材に触れ、描いたり作ったりすることを楽しむ。→IV期 | ・生活再現遊びを楽しむ。 | ・保育教諭等や友だちとごっこあそびを楽しむ。 | ・興味のある事や経験したことなどを言葉で伝えようしたり、生活再現遊びの中でそれぞれのイメージをもってごっこ遊びを楽しむ。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●環境構成 ★保育教諭の援助 | <ul style="list-style-type: none"> ●安心できる場を作る。→IV期 ●身の回りの事を自分でできるように環境を整える。→IV期 | <ul style="list-style-type: none"> ●水、砂、泥等の可塑性のある素材を準備する。 ●熱中症にならないように帽子をかぶったり、水分摂取ができるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ●全身を使って遊べる環境を整える。 ●体調や気候に合わせて衣服の調整ができるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ●つもり遊びやごっこ遊びにつながる環境を整える。 ★基本的な生活習慣の習得を個々に合わせて援助し、ひとりで出来た喜びを味わい自信が持てるようにする。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ★家庭との連携を取りながら、一人ひとりの健康状態や発育、発達状態を把握し、無理なく園生活を過ごせるようにする。 ★個々の自己主張を受け止め、その思いを代弁しながら納得できるよう援助する。 ★生活の切り替え時にはたっぷり時間をとり、子どもが自己決定できるように見通しをもった言葉掛けをする。 ★自分でしようとする気持ちを大切に、手助けが必要な時は援助する。 ★友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わえるように仲立ちをする。 | | | | | |

| | | I期（4～5月） | II期（6～8月） | III期（9～10月） | IV期（11～12月） | V期（1～3月） |
|---|-----------------------|---|---|--|---|---|
| ねらい | | <ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭等や友だちに親しみをもつ。 ・一日の生活の流れや身の回りの始末の仕方を知る。 ・春を感じながら身近な自然に親しみをもつ。 ・自分の好きな遊びを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭等や友だちと一緒に夏の遊びを楽しむ。 ・身の回りのことを自分でしようとする。 ・遊びの中で体を動かす楽しさを味わう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・秋の自然に触れながら、のびのびと遊ぶ。 ・戸外で十分に体を動かしながら遊ぶ。 ・友だちとのかかわりを楽しみながら、ルールがあることを知る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭等や友だちと一緒に遊びが広がる楽しさを感じる。 ・経験したことや感じたことなどを自分なりに表現する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・寒さに負けずに体を動かして遊ぼうとする。 ・自然に触れて遊ぶ中で、自然現象に興味をもったり、移りゆく季節を感じたりする。 ・友だちと一緒に、自分のイメージするものになりきって遊ぶ。 |
| 養護 | | <ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣を身につけられるように援助する。 ・要求を受けとめ、安心して生活を送れるように援助する。 ・子どもが主体的な生活ができるような工夫をする。 | | | | |
| 内容 | I健康（健康な体をつくる力） | <ul style="list-style-type: none"> ・園生活のリズムを身につける。 ・さまざまな遊具の遊び方を知る。 ・好きな遊びを見つける。 ・楽しく体を動かす | <ul style="list-style-type: none"> ・清潔の習慣に関心をもち、簡単な身の回りの始末をしようとする。 ・安全に気をつけながら、水遊びやプール遊びを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動を自分でしようとする。 ・さまざまな遊具や用具に触れ、体を動かすことを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・戸外でのびのびと身体を動かして遊ぶ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活に必要な活動を知る。 ・全身を使った遊びを楽しみ、寒さに負けず、元気よく過ごす。 |
| | II人間関係（人とのかかわる力） | <ul style="list-style-type: none"> ・新しい生活の仕方や身の回りのことを、保育教諭等と一緒にしながら身につけようとする。 ・保育教諭等に親しみをもち、一緒に遊びを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・友だちのしていることに興味・関心をもち、一緒に遊ぶ。 ・身近な人に親しみをもち、自らかかわろうとする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・共同の遊具や用具を大切に、みんなで使う。 ・身近な人に挨拶をしようとする。 ・友だちとのかかわりの中でルールを知る | <ul style="list-style-type: none"> ・簡単なルールのある遊びを通して、友だちとのかかわりかたを知る。 ・遊びの準備や片づけなどを、保育教諭等や友だちと一緒にしようとする。 ・自己主張し、大人に受け止めてもらいながら相手の気持ちに気づく | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを伝えたり、表現したりしながら、友だちと共感して遊ぶ楽しさを味わう。 ・成長したことを喜び、進級を楽しみにする。 |
| | III環境（自然や身近な環境にかかわる力） | <ul style="list-style-type: none"> ・身近で親しみやすい草花や虫などに触れる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・水や土などに触れ、夏の遊びを楽しむ。 ・生き物や植物に興味をもち、世話をするのを見たり手伝ったりする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・集めた木の実や木の葉を使って並べたり、比べたりすることを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・秋の自然に触れる中で、自然物に興味・関心をもつ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・霜や氷、吐く息の白さなど、冬の自然の不思議さに触れ、興味をもつ。 ・春を楽しみに待つ。 ・遊びや生活の中で、大小・長短・多少などを知る |
| | IV言葉（思いを伝える力） | <ul style="list-style-type: none"> ・日常の挨拶を進んでしようとする。 ・絵本や紙芝居を見たり聞いたりすることを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・したいことやしてほしいことを保育教諭等に身振りや知っている言葉で伝えようとする。 ・生活の中で必要な言葉が分かる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・経験したことや楽しかったことを保育教諭等や友だちに自分なりの言葉で話そうとする。 ・絵本を見たり、読んでもらったりする中で、さまざまな言葉に興味をもつ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・園生活におけるさまざまな人とのかかわりの中で、生活に必要な言葉を知っていく。 ・遊びの中で保育教諭等や友だちとの言葉のやりとりを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭等や友だちの話聞きことうとする。 ・繰り返しのあるお話に興味をもって、見たり聞いたりすることを楽しむ。 |
| | V表現（感性豊かに表現する力） | <ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭等と一緒に歌ったり、手遊びしたりすることを楽しむ。 ・いろいろな素材を使って描いたり、作ったりすることに興味をもつ | <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな歌に興味をもち、楽しく歌う。 ・自分の思いや経験を話しながら、のびのびと描いたり、作ったりすることを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて体を動かしたり、踊ったりすることを楽しむ。 ・自分でイメージをもって、描いたり、作ったりする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・友だちと一緒に歌ったり、簡単な打楽器を使ってリズム遊びを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・友だちと歌うことを楽しみ、一緒に表現したり、踊ったりする。 ・絵本の世界を楽しみ、共通のイメージをもってごっこ遊びを楽しむ。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●環境構成 ★保育教諭の援助 | | <ul style="list-style-type: none"> ●靴箱、ロッカー等にしるしを付けたり、グループを作るなど自分の場所という安心感をもてるようにする。（★園生活の流れや身の回りの始末の仕方を繰り返し知らせる。） ★身の回りのことを自分の力でできるように援助をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ●砂、水、泥、土粘土など可塑性のある素材に十分に触れ、全身でその感触が味わえるような時間や場所を確保する。 | <ul style="list-style-type: none"> ●全身を使った遊びを繰り返し楽しめるような環境を工夫する。 ★子どもの興味、関心があるものを把握し、やってみたいという気持ちを大切に | <ul style="list-style-type: none"> ●身近な自然に触れ、興味を引き出せるような環境をつくる。 ●親しみのある音楽に合わせて表現する楽しさを味わえるようにする。 ★その子なりの表現を認め、保育教諭等と一緒に楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ●季節感のある遊びや行事を通して、みんなで遊ぶ楽しさが味わえる環境を工夫する。 ★自分でできるようになったことを認め、進級への期待や自信に繋げていく。 |

| | | I期(4～5月) | II期(6～8月) | III期(9～10月) | IV期(11～12月) | V期(1～3月) |
|--|-----------------------|--|--|--|---|--|
| ねらい | | <ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境に慣れ、保育教諭等や友だちに親しみを感じながら生活する。 ・友だちの遊びに関心を示し、一緒に好きな遊びを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・気の合う友だちと一緒にいろいろな遊びを楽しむ。 ・園生活の流れが分かり、自分から進んで行動しようとする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・簡単なルールのある遊びを知り、保育教諭等や友だちと遊ぶ楽しさを味わう。 ・友だちと一緒に戸外で十分に体を動かして遊ぶことを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・季節を感じ取り、身近な自然にかかわって遊ぶ。 ・友だちと考えを出し合いながら、いろいろな遊びを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・友だちとのつながりを深めながら園生活を楽しむ。 ・進級への期待をもち、生活の流れに見通しをもって過ごす。 ・冬の自然現象や春の訪れに興味や関心をもち。 |
| 養護 | | <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣が身につく、見通しを持ち、生活できるように促す ・自らの体調の変化に気づき、衣服の調節ができるように声をかける。 ・年長への期待を持ち、いろいろな活動に意欲的に取り組めるようにする。 ・活動を通じて自信を持ち、保育教諭等や友だちとの信頼関係を築けるようにする。 | | | | |
| 内容 | I健康(健康な体をつくる力) | <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣が身につく、自分ですようとする。 ・保育教諭等や友だちと一緒に十分に体を動かして遊ぶ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・水遊びやプール遊びを楽しみ、水の心地よさを感じる。 ・自分の体に関心をもち、進んで衣服の着脱を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・様々な運動遊びに興味や関心をもち、友だちと一緒に取り組む楽しさを味わう。 ・遊具や用具の安全な使い方を知る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・色々な遊具や用具を使い、友だちと遊ぶ。 ・自分で衣服の調整を行い、健康管理に気をつける。 | <ul style="list-style-type: none"> ・寒さに負けず体を十分に動かすことを楽しむ。 ・冬の健康生活に必要な生活習慣を身につける。 |
| | II人間関係(人とかかわる力) | <ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭等や友だちと触れ合って遊ぶ。 ・園生活に必要なきまりや約束があることを知り、守ろうとする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・気の合う友だちと一緒に好きな遊びをする。 ・異年齢児に関心をもち、かかわって遊ぶ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな友だちとかわって遊ぶ。 ・共同の遊具や用具を大切に、順番に使う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ルールを守りながら、友だちと一緒に集団遊びを楽しむ。 ・地域の人々と触れ合い、親しみをもつ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・友だちと思いや考えを出し合いながら遊ぶ。 ・成長を喜び、身近な人への感謝の気持ちをもつ。 |
| | III環境(自然や身近な環境にかかわる力) | <ul style="list-style-type: none"> ・身近な飼育動物の世話をしたり、草花・虫などに触れる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・土・砂・水などで遊び、気持ちよさを味わう。 ・植物や野菜に親しみ、世話をすることを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・木の実や木の葉を集めたり、遊びに取り入れたり、秋のみのりを喜ぶ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・身近な木々の美しさや、変化を感じ取り、色や形に興味をもつ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・冬の自然事象に興味をもち、発見したり、不思議さを感じたりする。 ・遊びの中で文字や数に興味をもつ。 |
| | IV言葉(思いを伝える力) | <ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭等や友だちの話を聞いたり、自分の気持ちを伝えようとしたりする。 ・友だちと一緒に絵本を見たり、読んでもらったりすることを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・集団の中で保育教諭等の話を聞こうとする。 ・生活や遊びに必要な言葉の使い方を知る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭等や友だちの話に興味や関心をもち、親しみをもって聞く。 ・いろいろな絵本や物語などに親しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・相手に分かるように自分の思いを伝えようとする。 ・お話の世界を友だちと一緒に楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・友だちの話を聞いて相手の思いに気づく。 ・絵本のお話などからイメージを膨らませ、言葉で表現する。 |
| | V表現(感性豊かに表現する力) | <ul style="list-style-type: none"> ・歌をうたったり、体を動かしたりして楽しむ。 ・身近な素材を使って、描いたり作ったりする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活体験をごとこ遊びに取り入れて、友だちと遊ぶ。 ・イメージを広げ、様々な素材や道具を使って描いたり作ったりする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな材料や用具を使って見たことや感じたことを表現しようとする。 ・自分の思いを伝えながら、友だちと一緒に作ったもので遊ぶ楽しさを味わう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・友だちと一緒にイメージを共有し、作ったり、描いたりすることを楽しむ。 ・友だちと一緒にうたったり、音楽にあわせて楽器を鳴らしたりすることを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・お話の世界の中で友だちと一緒に作りきって表現する。 ・いろいろな素材を使い、工夫してイメージしたものを作る。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●環境構成 ★保育教諭等の援助 | | <ul style="list-style-type: none"> ●持ち物の準備や後始末が自分のできるよう、遊具や用具の表示の仕方や場を工夫する。 ★安心して園生活が送れるように新しい環境の中で友だちとかかわりがもてるような言葉かけをする。 | <ul style="list-style-type: none"> ●興味、関心に応じて、自ら遊びや活動に取り組めるよう環境を構成する。 ★友だちとかかわりながら遊んでいる姿を認め、トラブルがおこったときは保育教諭等が思いを受け止め、互いの思いを伝える。 | <ul style="list-style-type: none"> ●一人ひとりの興味、関心に応じて活動への意欲がわくよう、いろいろな素材や用具を十分に用意する。 ★個人差があることを考慮し、一人ひとりの頑張っている姿や成長したことを認め励ます。 | <ul style="list-style-type: none"> ●共同で使う遊具や用具を自分たちで分けたり整理したりできるよう、置き方を工夫する。 ★個や集団で遊ぶ中で相手の気持ちが分かるよう、保育教諭等が仲立ちをすすめる。 | <ul style="list-style-type: none"> ●目標に向かって取り組めるよう言葉かけを充分に行い、自ら取り組めるよう遊具や用具を準備する。 ★進級への期待の支えとなるようなかかわりや言葉かけを意識する。 |

| | | I期（4～5月） | II期（6～8月） | III期（9～10月） | IV期（11～12月） | V期（1～3月） |
|---|-----------------------|--|--|--|--|--|
| ねらい | | <ul style="list-style-type: none"> ・年長になった喜びや自覚をもち、進んでさまざまな活動に取り組む。 ・春の自然に親しみ、取り入れて遊ぶ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・思ったこと、感じたことを伝え合う楽しさを味わう。 ・身近な動植物に親しみ、その成長や変化に興味や関心をもつ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・友だちとのつながりを深め、互いに思いや考えを出しながら一緒に遊びを進めていく楽しさを味わう。 ・目的をもって活動に取り組み、自己を十分に発揮する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・友だちと共通の目的をもって、遊びを創り上げ、やり遂げる喜びと充実感を味わう。 ・イメージを広げ、さまざまな方法で表現する楽しさを味わう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・成長した喜びや感謝の気持ちをもち、入学への期待と自覚をもつ。 ・冬の自然現象や春の訪れに気づき、自然の不思議さや生命力を感じる。 |
| 養護 | | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の身体を大切に、基本的生活習慣を確立する。 ・友だちどうしで認め合い、みんなで達成感の持てる取り組みができるようにする。 ・主体的、意欲的に生活が送れるようにする。 ・ありのままの自分を受けとめ、間違っても失敗してもやり直せるように見守る。 | | | | |
| 内容 | I健康（健康な体をつくる力） | <ul style="list-style-type: none"> ・遊具や玩具で遊ぶ中で安全に気をつけて行動する。 ・進んで戸外で遊ぶ。 ・食物の役割を知り、色々な物を食べようとする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の健康に関心をもち、病気の予防などに必要な活動を進んで行う。 ・食べることに興味をもち、野菜を栽培する楽しさを味わう。 ・水の心地よさを感じながら、楽しんで身体を動かす。 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害時などの行動の仕方がわかり安全に気を付けて行動する。 ・友だちや保育教諭等と一緒に目的をもって身体を動かすことを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・体を十分に動かしながら、いろいろな運動遊びに進んでとりくむ。 ・衣服を調整し、体温調節を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・食事のマナーや時間を意識しながら食べる。 ・身の回りの整理整頓を丁寧に行う。 |
| | II人間関係（人とかかわる力） | <ul style="list-style-type: none"> ・きまりの大切さや必要性に気づき、守ろうとする。 ・年長になった自覚をもち、年少児に優しくかかわろうとする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・互いに思いや考えを出し合いながら、相手の思いを理解しようとする。 ・年少児を誘ったり、一緒に遊んだりして進んでかかわる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ルールや役割などを話し合い、友だちと協力して遊びを進める。 ・友だちと協力してやり遂げた時の達成感を味わう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・友だちと一緒に遊びを発展させる楽しさを味わう。 ・互いの思いを伝え合いながらトラブルなどを自分たちで解決しようとする。 ・地域の人々と触れ合い親しみをもち、人とかかわる楽しさを知る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・共通の目的に向かって役割を分担したり、協力したりしながら遊びをつくり上げていく。 ・心身の成長を喜び、世話になった人々への感謝の気持ちや入学への期待をもつ。 |
| | III環境（自然や身近な環境にかかわる力） | <ul style="list-style-type: none"> ・身近な動植物や自然に触れ、遊びに取り入れる。 ・飼育や栽培活動を通して、生命の大切さに気づく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの事象に興味をもったり、季節の変化に気づいたりする。 ・水や土、泥などの夏ならではの遊びを思い切り楽しみ、開放感を味わう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのいろいろな事象に関心をもち、試したり調べたりする。 ・自然物を使って工夫し、いろいろな遊びを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然の美しさに気づいたり、発見したりして感動を共有する。 ・秋の収穫の喜びを味わい、感謝の気持ちをもつ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・氷・霜など冬の自然事象や春の訪れに興味・関心をもち、見たり試したりして遊ぶ。 ・生活の中で数量・図形・文字に興味や関心をもつ。 |
| | IV言葉（思いを伝える力） | <ul style="list-style-type: none"> ・使う言葉を選び、自分の思いを適切に表現しようとする。 ・保育教諭等や友だちと考えやイメージを出し合って遊ぶことを楽しむ。 ・いろいろな分野の絵本などに親しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・友だちとイメージを共有しながら、遊びを楽しむ。 ・自分たちでやり取りをしながら、話を広げる楽しさを味わう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・相手の話をよく聞いたり、相手に分かるように話し、やり取りをする中で互いに認め合おうとする。 ・絵本の世界で想像を膨らませ、聞くことや自分で読むことを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・発見したことや驚きを友だちや保育教諭等に話したり、共感してもらうことに喜びを感じる。 ・文字に興味や関心をもち、生活や遊びの中に取り入れようとする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・経験したことや思いなどを、みんなの前で話す。 ・話す相手によって使う言葉や話し方がちがうことに気づく。 ・身近な人々に感謝の気持ちを言葉で伝える。 |
| | V表現（感性豊かに表現する力） | <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな素材や用具に親しみ、描いたり、つくったりすることを楽しむ。 ・友だちと一緒に楽しくうたったり、リズムに合わせて身体表現を楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分のイメージを広げながら、試したり、考えたり、工夫して表現することを楽しむ。 ・友だちの表現に興味をもって見たり一緒に表現することを楽しむ。 ・楽器を使ってリズム遊びを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・材料や用具を目的に応じて使おうとし、自分のイメージを表現しようとする。 ・友だちと一緒に歌の雰囲気を感じながらうたったり、楽器を使って合奏することを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・友だちとイメージを共有しながら、いろいろな方法で表現しようとする。 ・友だちと心を合わせてうたう心地よさを感じたり、合奏することを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・うたうことや合奏を通して友だちと一緒に表現する楽しさを味わう。 ・いろいろな用具や素材を使い、遊びに必要なものを友だちと相談したり、協力したりしながら作る。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●環境構成 ★保育教諭の援助 | | <ul style="list-style-type: none"> ★年長児になった喜びに共感し、進んで活動しようとする意欲を受け止める。 ●親しみのある用具や素材、使ったことのある遊具などを用意し、スムーズに新しい環境になじめるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ●自ら興味をもってかかわれる環境を準備して、自由に表現活動ができるようにする。 ★一人ひとりの取り組みやグループ活動の様子を知らせ、友だちの動きを意識し、良さに気付けるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ●自分たちで相談したり協力したりしながら、生活や遊びが楽しめるように場や時間の工夫をする。 ★一人ひとりのがんばりを友だちどうしで認め合い、目標に向かって一緒に活動できるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ●自然物で遊んだり、遊びに必要なものを作ったりできるように材料や用具を身近に用意しておく。 ★様々な活動の中で共通のイメージをもって活動が進められるように援助し、子ども同士のつながりをさらに深める。 | <ul style="list-style-type: none"> ★就学に向けて、期待や自信をもって就学できるように気持ちの安定をはかる。 ●遊びや日常生活の中で文字や数量にかかわって遊べるような場をつくる。 |